

平成 30年 1月 22日

### 政務活動費成果届出書

届出者 鈴木 好美

○使途項目 (○をつける) **○調査研究**・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

大規模災害時は発生直後から情報の収集・伝達等の臨機応変での確な初動対応が極めて重要です。東南海地震の発生が心配される中、現実に災害を経験された被災地の実情から初動対応を学び半田市(地域防災計画)に生かせる様に調査研究していきます。また震災の復興状況から半田市に生かせるものを学んで行きます。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

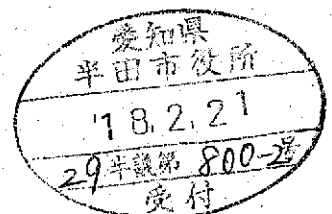
「宮城県山元町」目標は達成できた。

- 震災後の最も重要視したのが避難誘導、通常業務はできず被災者対応に2、3ヶ月かかるとの事
- 災害の規模に応じて現場が正常でなく職員達の休み無しの対応との事
- 不足している資源(人、資機材、通信機器、避難所等)全てが不足していた。
- 職員の初動対応が始まったのは1週間以上たってからの事
- 職員で来れる人は毎日顔を出すように促したとの事
- 家族や家庭の安否確認出来ないまま参集、中には遺体となつての情報がはいる。
- 職員参集の厳しい中(家族、兄弟、怪我等)の人選に志願した職員
- 計画期間を平成23年から平成32年度までの10年間とし、復旧期、再生期、発展期の3期に区分し復旧施策・事業に取り組んでいる。又、住いに関して、災害危険区域に指定された区域内、津波被害の危険性が高い地域は新築や増改築禁止とされていた。

「石巻市」目標は達成できた。

- 24時間勤務の交代制で対応したが、実質全ての避難者に対応することは不可能であったとのことで、震災前からしていた防災対策で役に立ったものは、被害想定を上回りすぎて全くなかったとのことでした。
- 初動期における職員の問題点として、災害時の自分の役割を知らなかったり、防災計画の存在すら知らない者もあり、防災意識や行政職員にしかできない市民のための仕事であるという意識が希薄であったため、家族が心配で職場から帰ってしまい、自分自身が被災したり、

確認欄	議長	管理委員長



休暇中に被災し出勤せず避難所で数日間避難生活していた者もいたとのことでした。次に応急期には、被災者が膨大、がれきなどにより移動範囲も限定され、あるものを届けられるところに届けるしかないという状態で、優先順位の判断が困難であり、配分などで公平性とか平等性は考慮できる状況ではなかったとのこと。毎日毎日新しい問題が発生し、それに対応するのが精いっぱい全ての職員が肉体的・精神的極限状態となっており、役割遂行が困難となり、共倒れ状態になっていたとのことでした。

●教訓としては、自分で判断してとにかく避難をすること、避難場所は自宅近くの避難所だけでなく複数想定する事、繰り返し訓練をしておくこと、避難所では自発的な助け合いをすることとのことでした。特に訓練に関しては、「普段やっていることしかできない」、「普段やっていることも満足にできない」、「普段やっていないことは絶対にできない」と言われていることから、地域や施設管理者、個人でも繰り返し行っていくことが重要であるとのことでした。市の職員は生き残れば、何百人の力になれる、心置きなく業務に当たれるように、常日頃から家族と避難、安否確認などについて話し合っておくことが必要と思う。

●震災時に通信ができなくなったが、情報収集及び伝達について震災後どういう方法をとるようになったに対して、災害に強い情報連携システムを構築しているとのこと。指定避難所にWi-Fiを設置し、タブレットを用意し、避難所の方から直接避難所や避難者の情報を逐次本部に伝達できるようなシステムであるとのこと。市職員や自主防災会などにもシステムの利用方法を指導しているが、防災訓練等を通じて今後もシステムに慣れてもらうようにしていきたいとのことでした。

○提言（半田市に対し、何をどう活用するか。）

●大震災の猛威や体験を教訓とし、自然災害を完全に防御するのではなく、被害を最小化する「減災」の考え方に基つき市が総力を挙げて職員が復旧・復興に取り組まなければならない。

●震災は規模も状況も被害も千差万別、準備することは中々難しい、日ごろからの訓練や防災計画はしっかりと行う事と地域力を高める必要があると考えます。

●大震災が近いと言われる東南海トラフ、様々な事を想像し対策をとっておく必要があると考える。

●東日本大震災に匹敵する大地震となる可能性をもった東南海地震が予想される地域であり、今回の視察により得た、災害時の対応や、広域的な自治体との連携、減災への取組み等について、今後の本市政に反映させるとともに、市の安全なまちづくりにつなげればと考えます。

○その他（その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）

確認欄	議長	管理委員長

申し合わせ様式第2号

- 500人分の備蓄が全然足らなかった
- 地域に入った職員が避難者から苦言を言われる、同じく議員にも。
- 町選で現職議員が震災時、地域住民とのやり取りで疲れ悩み、13名中、8名が新人となる。
- 女性の力が大きいとの事
- 死者は警察鑑定、DNA鑑定結果がでてから20日以上かかる。
- 震災時のライフライン約1.0日間が大変との事
- まだ約400人以上が行方不明との事
- 

確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間(概略可)	内容		金額(円)	領収書No
1/18 (木)	発8:05 着9:20	中部国際空港-仙台空港 (ANA361便)	旅割28	15,110	①
	発10:59 着11:09	仙台空港-名取	仙台空港 アクセス線	410	①
	発11:28 着11:55	名取-山下	JR常磐線	410	①
		昼食			
		山下駅-山元町役場 (1.8km)	徒歩		
	13:30 15:30	山元町視察 (山元町役場、町内)	手土産 2,808円	351円 2,808円 (8人)	②
		山元町役場-山下駅 (1.8km)	送迎		
	発16:00 着16:41	山下一仙台	JR常磐線	1,490	
	発17:11 着18:10	仙台-石巻	JR仙石東 北ライン		
		宿泊 コンビニAyers Rock ホテル石巻		5,150	③
1/19 (金)	9:30 11:00	石巻市視察 (石巻市役所)	手土産 (上記を含む)		
		昼食			
	発11:52 着12:55	石巻-仙台	JR仙石東 北ライン	1,380	①
	発13:11 着13:35	仙台-仙台空港	仙台空港 アクセス線		
	発14:20 着15:35	仙台空港-中部国際空港 (ANA3148便)	旅割28	18,210	①
		合計	42,511		

平成 30年 1月 24日

領収書等貼付用紙

議員名 鈴木 好美


タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

**領 収 証**

株式会社 JTB中部 

No 01045533963-03-01  
2017年12月19日

鈴木 好美 様  
下記の金額正に領収いたしました

¥37,010

但し 1月19日 JR乗車券代金・航空券代金として

ご入金内訳 2017/12/19 現金 ¥37,010

¥0

出納責任者 山本 真司 取扱者 中川 美穂  
団体旅行半田支店 0569-22-4449

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。  
③3015016 R 024825 お客様用

2018年01月15日

領 収 書

一連No000020  
領収No006211

鈴木好美 様

¥2,808-

(但し お品代(お菓子)として  
正に領収致しました)



2,808円 ÷ 8 = 351円  
1人分

収入印紙

株式会社 総本家

田中屋

愛知県半田市清水北町一番地  
TEL:0569-21-1594

印刷面を内側に折って保管願います

領収書等貼付用紙

議員名 鈴木 好美

タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中 2枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 証

No. 1411  
2018/01/18

鈴木好美 様

(金額) ¥5,150-

消費税 ¥381 を含む

上記、正に領収致しました。

但し 御宿泊代 として

コンビニ Ayers Rock ホテル石巻

保管する場合は、印刷面を内側に  
折りたたんで下さい

石巻市立町1丁目6-21  
TEL 0225-23-5030 FAX 0225-23-5031

現金決済



#0001-01

シート# 5378

# 政務活動費成果届出書

届出者       沢田    清      

○使途項目 (○をつける) **○調査研究**・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

大規模災害時は発生直後から情報の収集・伝達等の臨機応変での確な初動対応が極めて重要で、南海地震の発生が心配される中、現実に災害を経験された被災地の実情から初動対応を学び半田市(地域防災計画)に生かせる様に調査研究していきます。また震災の復興状況から半田市に生かせるものを学んで行きます。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

山元町、石巻市二か所ともに、目的は達成できた。

●山元町

- ・町長自らのお出迎えを頂いた。
- ・仮設役場での説明で、災害の大きさが受け取れた。
- ・復興現場へ車での見学もさせて頂き実際に未だ工事が進まないところが、よく分かった。(道路のかさ上げが4メートル)
- ・復興というよりも新しい町を一つ作っているように見えた。それだけ津波の威力が大きかったと受け取れた。まだまだ復興するには相当な年数が必要である。「戦争よりひどい」という言葉が印象的でした。
- ・議会の無力感(蚊帳の外)が印象的でした。

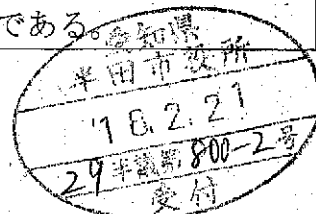
●石巻市

我々のような視察者の受け入れ、他の地域へ講演をする専門担当者による説明だったので、聞きたいことのほとんどが説明内にあった。

すべての通信手段がとまり、限られた防災無線のみということで、情報がわからない中での活動体験を聞くことができた。初動期は全く何もできないので72時間は自助で対応するように心がける。実際に4日目ぐらいから外に出ることができた。また、救助・救命は行政ではできない。警察と消防の連携。

これまでは津波に対してそれほど重要視していなかったことで被害が大きくなったことが聞けた。行政だけの対応は無理なので、民間企業との協定が大事である。

確認欄	議長	管理委員長



○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・自治体だけでは対応が難しいので、民間企業との協定を多く結んでおくこと。
- ・防災無線の必要性を考える。日ごろからの訓練。
- ・防災ラジオの普及。唯一の情報源。コミュニティラジオ局の必要性。
- ・地域コミュニティの大切さを半田市全体に知らせる努力をする。
- ・3日間は自力で生きる必要性、行政の手が届くまでの間をいかに自分たちで生きるのかを日ごろから市民に通達しておく。
- ・地域別により細かく情報担当を決めて対応できるように区割りをして訓練を重ねることで、有事の際に慌てずに行動できるようにしておく。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

- ・プライベートの空間がないので、なるべくなら避難所に行かなくても生活できるように、日頃からの減災対策を強化しておくこと。
- ・女性の力が必要だし、強いことが分かった。
- ・議会の無力感を聞くことができた、蚊帳の外である。町民との間に入って仕事をするのに疲れて8人が選挙に出なかった。日ごろの地域コミュニティの大切さ、必要性を重んじている地域は、復興が早い。

	議長	管理委員長
確認欄		



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間(概略可)	内容		金額(円)	領収書No
1/18 (木)	発8:05 着9:20	中部国際空港-仙台空港 (ANA361便)	旅割28	15,110	①
	発10:59 着11:09	仙台空港-名取	仙台空港 アクセス線	410	①
	発11:28 着11:55	名取-山下	JR常磐線	410	①
		昼食			
		山下駅-山元町役場 (1.8km)	徒歩		
	13:30 15:30	山元町視察 (山元町役場、町内)	手土産 2,808円	351円 2,808円 (8人)	②
		山元町役場-山下駅 (1.8km)	送迎		
	発16:00 着16:41	山下-仙台	JR常磐線	1,490	①
	発17:11 着18:10	仙台-石巻	JR仙石東 北ライン		
	宿泊 コンビニAyersRock ホテル石巻		5,150	③	
1/19 (金)	9:30 11:00	石巻市視察 (石巻市役所)	手土産 (上記に含む)		
		昼食			
	発11:52 着12:55	石巻-仙台	JR仙石東 北ライン	1,380	①
	発13:11 着13:35	仙台-仙台空港	仙台空港 アクセス線		
	発14:20 着15:35	仙台空港-中部国際空港 (ANA3148便)	旅割28	18,210	①
		合計	42,511		

平成30年1月30日

領収書等貼付用紙

議員名 沢田 清


タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

**領 収 証**

株式会社 JTB中部 

No 01045533963-06-01  
2017年12月19日

沢田 清 様  
下記の金額正に領収いたしました

¥37,010 ※

但し、1月18日 JR乗車券代金・航空券代金として

ご入金内訳 2017/12/19 現金 ¥37,010

約

出納責任者 山本 真司  
団体旅行半田支店

取扱者 中川 美穂  
0569-22-4449

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。  
①

①

R 024828  
お客様用

2018年01月15日

領 収 書

一連No000020  
領収No006211

鈴木好美 様

¥2,808-

(但し お品代(お菓子)として  
正に領収致しました)



2,808円 ÷ 8 = 351円  
1人分

収入印紙

株式会社 総本家

田中屋

愛知県半田市清水北町一番地  
TEL:0569-21-1594

印刷面を内側に折って保管願います

②  
原本は鈴木  
好美 さん

平成30年 1月30日

領収書等貼付用紙

議員名 沢田 清

タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中 2枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

領 収 証

No. 1414  
2018/01/18

沢田清 様

(金額) ¥5,150-

消費税 ¥381 を含む

上記、正に領収致しました。

但し 御宿泊代 として

コンビニ Ayers Rock ホテル石巻

保管する場合は、印刷面を内側に折たたんで下さい

石巻市立町1丁目6-21  
TEL 0225-23-5030 FAX 0225-23-5031

クレジット決済

印

#0001-01

印-1# 5381

3

平成 30年2月 13日

# 政務活動費成果届出書

届出者 澤田勝

○使途項目 (○をつける) **調査研究**・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

大規模災害時は発生直後から情報の収集・伝達等の臨機応変で的確な初動対応が極めて重要です。東南海地震の発生が心配される中、現実に災害を経験された被災地の実情から初動対応を学び半田市(地域防災計画)に生かせる様に調査研究していきます。  
また震災の復興状況から半田市に生かせるものを学んで行きます。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

現地を視て、現場の話を聞いた今回の視察での目的は達成できた。想像していた以上に災害復興計画は進んでいなかった。現場対応で亡くなった県市町の職員を含む、人々の生命や財産は計り知れないと感じ、災害前にやるべくことが多くあると思いました。

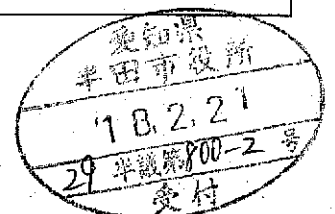
○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

東海東南海地震など、大きな災害に対し、この地域でのやるべき事前対策の必要性はまだ多くあると感じました。その一つ、職員の役割として災害直後から、避難場所や被災現場と役所または、県・国、病院等との対応があります。今回の東日本大震災のように長期的な対応となり職員の心身とも想像できない疲労やストレスがありました。疲労のないことは不可能とは言え、職員の長期の災害体制(場合によっては、労働契約にも及ぶこともありうる)について考えて職員という財産もなくさない地域防災計画も必要です。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

2011年に起きた東日本大震災の現地を、改めて被災者へのお見舞いと御霊への追悼の気持ちを持ち、復興の進捗を確認し、半田市での災害の備えを調査するために視察先へ向かいました。想像していた以上に、復興が進んでいない事と半田市では大きな災害が起きる前にやるべきことが、多くありすぎると感じた。

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間(概略可)	内容		金額(円)	領収書No
1/18 (木)	発8:05 着9:20	中部国際空港-仙台空港 (ANA361便)		15,110	①
	発10:59 着11:09	仙台空港-名取	仙台空港 アクセス線	410	①
	発11:28 着11:55	名取-山下	JR常磐線	410	①
		昼食			
		山下駅-山元町役場 (1.8km)	徒歩		
	13:30 15:30	山元町視察 (山元町役場、町内)	手土産 2,808円	351 (2,808円) (8人)	②
		山元町役場-山下駅 (1.8km)	送迎		
	発16:00 着16:41	山下-仙台	JR常磐線	1,490	①
	発17:11 着18:10	仙台-石巻	JR仙石東 北ライン		
	宿泊 コンビニAyers Rock ホテル石巻		5,150	③	
1/19 (金)	9:30 11:00	石巻市視察 (石巻市役所)	手土産 (上記に含む)		②
		昼食			
	発11:52 着12:55	石巻-仙台	JR仙石東 北ライン	1,380	①
	発13:11 着13:35	仙台-仙台空港	仙台空港 アクセス線		
	発14:20 着15:35	仙台空港-中部国際空港 (ANA3148便)		18,210	①
		合計	42,511		

領収書等貼付用紙

議員名 澤田勝


タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

**領 収 証**

株式会社 JTB中部 

No 01045533963-07-01  
2017年12月19日

澤田 勝 様  
下記の金額正に領収いたしました

¥37,010 ※

但し 1月18日 JR乗車券代金・航空券代金として

ご入金内訳 2017/12/19 現金 ¥37,010

印

出納責任者 山本 寛司  
岡体旅行社半田支店

取扱者 中川 美穂  
0569-22-4449

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。  
③3015016

R 024829  
お客様用

①

②

2018年01月15日

**領 収 書**

鈴木好美 様

¥2,808-

(但し お品代(お菓子)として  
正に領収致しました)

収入印紙

株式会社 総本家 **田中屋**

愛知県半田市清水北町一番地  
TEL. 0569-21-1594

印刷面を内側に折って保管願います

一連No000020  
領収No006211

2,808円 ÷ 8名 = 351円  
1名分 351円

原本は鈴木好美議員に添付

領収書等貼付用紙

議員名 澤田勝

タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中 2枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 証

No. 1413  
2019/01/18

澤田勝

様

(金額) ¥5,150-

消費税 ¥381 を含む

上記、正に領収致しました。

但し

御宿泊代

として

コンビニ Ayers Rock ホテル石巻

保管する場合は、印刷面を内側に  
折りたたんで下さい

石巻市立町1丁目6-21  
TEL 0225-23-5030 FAX 0225-23-5031

③

クレジット決済

#0001-01 口座# 5380

# 政務活動費成果届出書

届出者 石川 英之

○使途項目 (○をつける) **調査研究**・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

大規模災害時は発生直後から情報の収集・伝達等の臨機応変で的確な初動対応が極めて重要です。東南海地震の発生が心配される中、現実に災害を経験された被災地の実情から初動対応を学び半田市(地域防災計画)に生かせる様に調査研究していきます。また震災の復興状況から半田市に生かせるものを学んで行きます。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

達成出来たと思います。

理由として、実際に身をもって体験した人の言葉には説得力があった。内容については提言に。

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

◎山元町においては全体の状況を把握するのに一か月経過しても完了しなかったとの事。

それをふまえ、どうすれば一日も早く状況把握出来るかを様々な災害のシュミレーションをし、対策すべきである。

◎山元町・石巻市とどちらも食料の備蓄が十分でなかったとの事で、これだけあればいいだろうではなく、さらに充実させるべきである。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

◎避難所生活からはじまり、通常の生活に戻るまで・戻った後も一部の部課に負担が偏り、石巻市においては25%の職員がPTSDの症状を訴えているとの事。初動とは異なるが、しっかりとした体制作りを望みます。

	議長	管理委員長
確認欄		





○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間(概略可)	内容		金額(円)	領収書No
1/18 (木)	発8:05 着9:20	中部国際空港-仙台空港 (ANA361便)	旅割28	15,110	1
	発10:59 着11:09	仙台空港-名取	仙台空港 アクセス線	410	1
	発11:28 着11:55	名取-山下	JR常磐線	410	1
		昼食			
		山下駅-山元町役場 (1.8km)	徒歩		
	13:30 15:30	山元町視察 (山元町役場、町内)	手土産 2,808円	351円 2,808円 (8人)	2
		山元町役場-山下駅 (1.8km)	送迎		
	発16:00 着16:41	山下-仙台	JR常磐線	1,490	1
	発17:11 着18:10	仙台-石巻	JR仙石東 北ライン		1
		宿泊 コンビニAyersRock ホテル石巻		5,150	3
1/19 (金)	9:30 11:00	石巻市視察 (石巻市役所)	手土産 (上記に含む)		2
		昼食			
	発11:52 着12:55	石巻-仙台	JR仙石東 北ライン	1,380	1
	発13:11 着13:35	仙台-仙台空港	仙台空港 アクセス線		1
	発14:20 着15:35	仙台空港-中部国際空港 (ANA3148便)	旅割28	18,210	1
		合計	42,511		

平成30年 / 月 3 / 日

領収書等貼付用紙

議員名 石川 英之

タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2 枚中 / 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 証

株式会社 JTB中部



No 01045533963-02-01  
2017年12月19日

石川 英之 様  
下記の金額正に領収いたしました

¥ 37,010 ※

但し 1月18日 JR乗車券代金・航空券代金として

ご入金内訳 2017/12/19 現 金 ¥37,010

¥0

出納責任者 山本 真司 取扱者 中川 美穂  
団体旅行半田支店 0569-22-4449

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。  
③3015016

R 024824  
お客様用

2018年01月15日

領 収 書

一連No000020  
領収No006211

鈴木 好美 様

¥2,808-

(但し お品代(お薬分)として  
正に領収致しました)



2,808円 ÷ 8 = 351円  
1人分

収入印紙

株式会社 鈴木家

田中屋

愛知県半田市清水北町一番地  
TEL: 0569-21-1594

印刷面を内側に折って保管願います

原本は鈴木  
好美さん

平成 30年 1月 31日

領収書等貼付用紙

議員名 石川 英之

タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中 2枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 証

No. 1415  
2018/01/18

石川 英之 様

(金額) ¥5,150-

消費税 ¥381 を含む

上記、正に領収致しました。

但し 御宿泊代 として

コンビニ Ayers Rock ホテル石巻

(B)

保管する場合は、印刷面を内側に  
折りたたんで下さい

石巻市立町1丁目6-21  
TEL 0225-23-5030 FAX 0225-23-5031

クレジット決済

丁  
頁

#0001-01

シート# 5382

### 政務活動費成果届出書

届出者 山本半治

○使途項目 (○をつける) **調査研究**・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

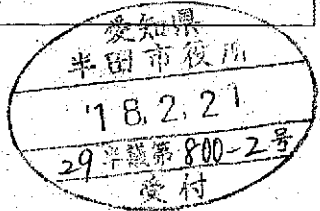
○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

大規模災害時は発生直後から情報の収集・伝達等の臨機応変での確な初動対応が極めて重要です。東南海地震の発生が心配される中、現実に災害を経験された被災地の実情から初動対応を学び半田市(地域防災計画)に生かせる様に調査研究していきます。また震災の復興状況から半田市に生かせるものを学んで行きます。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

両視察地とも目標は達成できた。  
山元町で学んだこと 面積65km<sup>2</sup> 人口約12,400人 死亡者637人5%  
・地震により庁舎が使えず屋外での対応となり、防災行政無線が使えなかったために防災行政無線の遠隔制御器が設置されている互理消防署より広報の放送が行われており又、夜間や休日を想定した場合24時間体制の消防署からの運用は効果的との事だった。  
・防災行政無線が作動しない場合を想定し、広報がなくても町民が避難出来るような啓発活動が必要とのこと。  
・S53年の宮城沖地震を想定した避難者数500人が5,826人となったことで救援活動が大混乱となったことから、災害時の最大のダメージを把握した対応が重要とのこと。  
・避難所運営に多くの職員が従事したため、他の業務に支障があった。  
・遺体のDNA鑑定などに時間がかかり、遺体引き取りに手間取っていた。  
・災害情報の伝達手段として、県とNTTの提供(レンタル)で衛星携帯電話を活用していた。  
・避難誘導の広報者2台が移動系防災行政無線を掲載していなかったため津波被災で職員4名が殉職された。  
・避難所では、食生活やJAなどの女性の活躍があった。  
・被災者地域では地域格差により対応が段違いで、日常の繋がりの重要とのこと。  
・災害が平日の昼間に発生したため、想定していた地域役員が不在であった。

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第2号

石巻市で学んだこと 面積約 554 km<sup>2</sup> 人口約 147,000 人 死亡者 3,181 人 2%

・庁舎一帯が浸水没し庁外に出られられない状況で、人・資機材・物資の全てが不足していた。

・震災による死亡者の殆どが津波により亡くなっており、特に引き波や第二波で亡くなる方が多かった。

・広報車で中々避難しない市民に繰り返し広報した結果、津波で殉職した職員がいた。

・限られた資源のなかで、優先順位の判断が困難であった。

・職員が肉体的、精神的に極限状態となっていた。

・救援物資を優先的に避難者に提供したため、職員は3日間何も食べない状況だった。

・収容された遺体のお浄め、運搬、仮埋葬のための入館作業が大変だった。

・災害情報の伝達手段を多く用意している。衛星電話やFMの防災ラジオなど。

・災害に備え、各種民間企業との協定を結んでいた。又、民間事業所への災害用品備蓄の推奨を行っている。

・自主防災組織に資機材、備蓄品、防災訓練費、防災士養成講座費（一人6万円・年間2名）の補助を実施している。

○提言（半田市に対し、何をどう活用するか。）

・防災行政無線が使えない場合や、夜間・休日24時間体制を考えた時、消防署の遠隔制御器の活用は有効だと思う。

・災害時の職員業務を円滑に行うために、全ての避難所運営を自治区自ら行えるように日頃からの訓練が重要である。

・災害時の発生時間を考え、地域役員が不在の時の体制を整える。その時には女性の協力を仰ぐ。

・避難誘導の広報車を出す場合には、無線機の掲載と安全第一の対応を徹底する。

・防災情報の伝達手段を多く用意する。携帯衛星電話や防災ラジオなど。

・遺体のDNA鑑定をスムーズにできる仕組み作りや入棺作業に民間業者の協力を仰ぐ

・災害時の職員の肉体的・精神的なケアプランを考える。

・避難者生活には、日常的な地域の繋がりが大変重要となることを市民に徹底する。

○その他（その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）

東日本大震災では津波被害で殆どの方が亡くなられ、阪神淡路大震災では家屋の倒壊火災で亡くなられている。本市では海岸地域やその他の地域で災害状況にあった避難行動が違ってくる。そのために、市民に災害状況に合った行動を分かりやすく伝えて頂きたい。

確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間(概略可)	内容		金額(円)	領収書No
1/18 (木)	発8:05 着9:20	中部国際空港—仙台空港 (ANA361便)	旅割28	15,110	①
	発10:59 着11:09	仙台空港—名取	仙台空港 アクセス線	410	①
	発11:28 着11:55	名取—山下	JR常磐線	410	①
		昼食			
		山下駅—山元町役場 (1.8km)	徒歩		
	13:30 15:30	山元町視察 (山元町役場、町内)	手土産 2,808円	351円 2,808円 (8人)	②
		山元町役場—山下駅 (1.8km)	送迎		
	発16:00 着16:41	山下—仙台	JR常磐線	1,490	①
	発17:11 着18:10	仙台—石巻	JR仙石東 北ライン		
	宿泊 コンビニAyers Rock ホテル石巻		5,150	③	
1/19 (金)	9:30 11:00	石巻市視察 (石巻市役所)	手土産 (上記に含む)		
		昼食			
	発11:52 着12:55	石巻—仙台	JR仙石東 北ライン	1,380	①
	発13:11 着13:35	仙台—仙台空港	仙台空港 アクセス線		
	発14:20 着15:35	仙台空港—中部国際空港 (ANA3148便)	旅割28	18,210	①
		合計	42,511		

領収書等貼付用紙

議員名 山本 半治

タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 証

株式会社 JTB中部



No 01045533963-01-01

2017年12月19日

山本 半治 様

下記の金額正に領収いたしました

¥37,010

但し 1月18日 JR乗車券代金・航空券代金として

ご入金内訳 2017/12/19 現金 ¥37,010

¥0

出納責任者 山本 寛司 団体旅行半田支店 取扱者 中川 美穂 0569-22-4449

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

③3015018

R 024823

お客様用

2018年01月15日

領 収 書

一連No000020 領収No006211

鈴木好美 様

¥2,808-

(但し お品代(お菓子)として正に領収致しました)

収入印紙

株式会社 総本家

田中屋

愛知県半田市清水北町一番地 TEL:0569-21-1594

印刷面を内側に折って保管願います

2,808円 ÷ 8 = 351円 1人分

原本は鈴木好美議員

領収書等貼付用紙

議員名 山本羊治

タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中 2枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 証

山本羊治 様

(金額) ¥5,150-

消費税 #381 を含む

No. 1417  
2018/01/18

上記、正に領収致しました。  
但し 御宿泊代 として

コンビニ Ayers Rock ホテル石巻

保管する場合は、印刷面を内側に  
折りたたんで下さい

石巻市立町1丁目6-21  
TEL 0225-23-5030 FAX 0225-23-5031

現金決済

#0001-01 02-14 5379



# 政務活動費成果届出書

届出者 山田 清一

○使途項目 (○をつける) **調査研究**・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

大規模災害時は発生直後から情報の収集・伝達等の臨機応変で的確な初動対応が極めて重要です。東南海地震の発生が心配される中、現実には災害を経験された被災地の実情から初動対応を学び半田市(地域防災計画)に生かせる様に調査研究していきます。また震災の復興状況から半田市に生かせるものを学んで行きます。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

概ね達成できた。

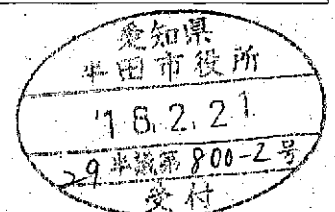
○山元町

- ・職員を優先的に配置したのは避難所であり、多くの職員が従事し、その運営や物資の受け入れなど、被災前に考えていた以上の困難さを感じ取ることができた。
- ・災害対策本部で町長が陣頭指揮を執り、全般的な決定をすべて町長が行えたのは、人口規模やコンパクトな組織体制であるからできたのではないかと捉えた。
- ・「災害対応では庁外組織との連携も重要であり、県関係者やライフライン事業者などを含めた総合的な調整会議について地域防災計画に記載すべきである」「情報収集経路について整理し、組織的に収集・整理できるように計画することが望まれる。他機関や不特定多数の住民からの通報、要望などを想定し、受信及び整理する方法・体制を検討する」と配布資料に記載があったが半田市での現状はどうか。

○石巻市

- ・被災直後より防災対策課長として指揮を執っていた危機対策課事業推進監の言葉は、当時の状況が思い浮かぶ程の説得力があり、災害対策の強化や指揮命令系統の組織体制、中心的な責任を担う人材育成は継続的に行うことが必要であることを再確認できた。
- ・職員も震災から7年が経過し災害対策本部での経験者は市長はじめ3人のみとなっている状況から、被災地であっても災害対策の強化は継続的な取り組みが重要であることを再認識した。
- ・「職員は、自身の家族の安否確認もできない状況の中で、市民から対応困難な要求を受け

確認欄	議長	管理委員長



続けた」ことは想像できるため、そうした状況の中で職務遂行していくイメージを持っておくことが求められる。

- ・市民に対し各家庭で備蓄をすることを原則としている。そのうえで市が備蓄するだけでなく、自主防災会や町内会ごとにも備蓄をしている。(4/5補助)また、民間企業にも備蓄をお願いしているなど、被災の経験から3日目までは、外部からの救援物資が届きにくい状況であったことが影響している。被災から月日が経つごとに市民からの要望が多様化することを認識した。また、支援物資は個別配布ではなく、可能な限りセットにまとめて配布する等、負担軽減のために工夫したことは参考になる。
- ・物流に関しては、佐川急便と連携したことは大変有効であった。
- ・人材育成の一環として、現在防災士180名となっている。防災士育成講座を実施し1名あたり6万円ほど必要であるが、全額市で負担し育成していた。
- ・津波避難タワーの整備や津波避難ビル整備事業費の補助上限1,000万円は、石巻市の地理的な状況の中での取り組みであった。
- ・情報連携システム「オレンジ」については、費用面や有効性等さらに調べてみたい。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・被災地では、初動対応において避難所に職員を最優先で配置した実態を踏まえると、地域ごと各避難所での訓練を自主防災会や自治区などが継続的に行うことが重要である。
- ・大規模災害時、大混乱が予想される中において、市長は大局的な判断や決定を行い、各部署が責任をもって職務遂行できる体制強化が望まれる。そのためには、最悪な状況を可能な限り想定し、地道に訓練を重ねていくことが必要である。
- ・大規模災害時には混乱することが予想されるため、指揮命令系統や意思決定のプロセスを明快にするとともに、有事の時のイメージを職員が意識できるよう訓練しておくことが重要である。
- ・職員も被災者となることが予想され、そのうえで職員でないとできない仕事が多く発生するため、マンパワーが足りなくなることが想定される。半田市における大規模災害時には、職員OBなどを含め応援体制の強化が求められる。
- ・半田市においては、収容された遺体のお浄め・運搬、仮埋葬のための入館作業はどの部署が担うことになるのか。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

- ・山元町において、「被災地域に居住していた町議の全ての方が次期選挙に出馬せずに引退した」との事であった。

	議長	管理委員長
確認欄		

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間(概略可)	内容		金額(円)	領収書No
1/18 (木)	発8:05 着9:20	中部国際空港-仙台空港 (ANA361便)	旅割28	15,110	①
	発10:59 着11:09	仙台空港-名取	仙台空港 アクセス線	410	①
	発11:28 着11:55	名取-山下	JR常磐線	410	①
		昼食			
		山下駅-山元町役場 (1.8km)	徒歩		
	13:30 15:30	山元町視察 (山元町役場、町内)	手土産 2,808円	351円 2,808円 (8人)	②
		山元町役場-山下駅 (1.8km)	送迎		
	発16:00 着16:41	山下一仙台	JR常磐線	1,490	①
	発17:11 着18:10	仙台-石巻	JR仙石東 北ライン		
	宿泊 コンビニAyers Rock ホテル石巻		5,150	③	
1/19 (金)	9:30 11:00	石巻市視察 (石巻市役所)	手土産 (上記に含む)		
		昼食			
	発11:52 着12:55	石巻-仙台	JR仙石東 北ライン	1,380	①
	発13:11 着13:35	仙台-仙台空港	仙台空港 アクセス線		
	発14:20 着15:35	仙台空港-中部国際空港 (ANA3148便)	旅割28	18,210	①
		合計	42,511		

領収書等貼付用紙

議員名 山田 清一

タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 証

株式会社 JTB中部



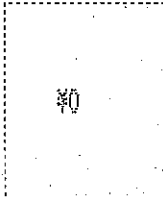
No 01045533963-04-01  
2017年12月19日

山田 清一 様  
下記の金額正に領収いたしました

¥37,010 ※

但し 1月18日 JR乗車券代金・航空券代金として

ご入金内訳 2017/12/19 現金 ¥37,010



出納責任者 山本 真司 取締役 中川 美穂  
団体旅行半田支店 0569-22-4449

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。  
0015016

R 024826  
お客様用

2018年01月15日

領 収 書

一連No000020  
領収No006211

鈴木好美 様

¥2,808-

(但し お品代(お菓子)として  
正に領収致しました)



2,808円 ÷ 8 = 351円  
1人分

収入印紙

株式会社 総本家

田中屋

愛知県半田市清水北町一番地  
TEL:0569-21-1594

印刷面を内側に折って保管願います

元本は、鈴木好美議員

平成 30年 1月 24日

領収書等貼付用紙

議員名 山田 清一

タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中 2枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 証

No. 1418  
2018/01/18

山田 清一 様

(金額) ¥5,150-

消費税 ¥381 を含む

③

上記、正に領収致しました。

但し 御宿泊代 として

コンビニ Ayers Rock ホテル石巻

保管する場合は、印刷面を内側に  
折りたたんで下さい

石巻市立町1丁目6-21  
TEL 0225-23-5030 FAX 0225-23-5031

クレジット決済

#0001-01 レシート# 5385

# 政務活動費成果届出書

届出者 榊原伸行

○使途項目 (○をつける) **調査研究**・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

大規模災害時は発生直後から情報の収集・伝達等の臨機応変での確な初動対応が極めて重要です。東南海地震の発生が心配される中、現実には災害を経験された被災地の実情から初動対応を学び半田市(地域防災計画)に生かせる様に調査研究していきます。また震災の復興状況から半田市に生かせるものを学んで行きます。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

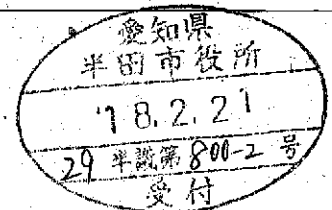
○目的は、達成できた。

- ・山元町=①初動態勢で最も重要視した点は、避難誘導・広報活動避難所運営・物資の受け入れ。救助・操作・安否確認。②避難所運営では、多くの職員が従事したが地域のつながり、人と人のつながりなど地域格差が生じた。③物資などが、行きわたるまでに一週間、役場の通常業務まで三週間を要した。④災害時職員初動マニュアルの策定・災害時の分掌事務の見直し
- ・石巻市=①災害情報伝達手段の多層化②地域防災連絡会③備蓄品保管場所をできるだけ多くの場所に備蓄する分散備蓄④地震>津波から津波>地震へ⑤石巻市防災基本条例の制定⑥想定する津波の考え方の変化=発生頻度の高い津波に対しては、従来どおり堤防・護岸で人命や財産を守るが、最大クラスの津波に対しては、完全に防ぐことをあきらめ、逃げて人命だけは守る。

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ①復興に向けた課題として山元町では、一般会計予算が55億円から400億円に上昇したが、予算に比べ圧倒的にマンパワーが不足する。マンパワーの確保と事業継続性確保のため長期の派遣職員の調整と確保が、必要であり検討を要する。
- ②災害に強い情報連携・情報提供・情報伝達・情報共有・通信方法の確立を検討する。
- ③在宅避難者への物資など発送拠点の設置の検討。
- ④電源オフでも自動的に起動し停電時でも役に立つ防災ラジオ普及促進と補助を検討する。(石巻市では1000円)

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第2号

- ⑤ 備蓄品保管場所を多くの場所に分散備蓄するようにする。
- ⑥ 被害想定はあるが、災害対応想定がないためその防災計画の見直しを要する。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

- ① ご遺体があっても警察でのDNA鑑定に二週間を要し引き取りができなく火葬ができなく大変であった。

確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間(概略可)	内容		金額(円)	領収書No
1/18 (木)	発8:05 着9:20	中部国際空港—仙台空港 (ANA361便)	旅割28	15,110	1
	発10:59 着11:09	仙台空港—名取	仙台空港 アクセス線	410	1
	発11:28 着11:55	名取—山下	JR常磐線	410	1
		昼食			
		山下駅—山元町役場 (1.8km)	徒歩		
	13:30 15:30	山元町視察 (山元町役場、町内)	手土産 2,808円	351円 2,808円 (8人)	2
		山元町役場—山下駅 (1.8km)	送迎		
	発16:00 着16:41	山—仙台	JR常磐線	1,490	1
	発17:11 着18:10	仙台—石巻	JR仙石東 北ライン		1
	宿泊 コンビニAyersRock ホテル石巻		5,150	3	
1/19 (金)	9:30 11:00	石巻市視察 (石巻市役所)	手土産 (上記に含む)		2
		昼食			
	発11:52 着12:55	石巻—仙台	JR仙石東 北ライン	1,380	1
	発13:11 着13:35	仙台—仙台空港	仙台空港 アクセス線		1
	発14:20 着15:35	仙台空港—中部国際空港 (ANA3148便)	旅割28	18,210	1
		合計	42,511		



平成30年1月24日

領収書等貼付用紙

議員名 柳原伸行


タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中 / 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

**領 収 証**

株式会社 JTB中部 

No 01045533963-05-01  
2017年12月19日

柳原 伸行 様  
下記の金額正に領収いたしました

¥ 37,010 \*

但し 1月18日 JR乗車券代金・航空券代金として

ご入金 2017/12/19 現 金 ¥37,010  
内 訳

印

出納責任者 山本 真司  
団体旅行半田支店

取扱者 中川 美穂  
0569-22-4449

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。  
③015016

R 024827  
お客様用

2018年01月15日

領 収 書

一連No000020  
領収No006211

鈴木好美 様

¥2,808-

(但し お品代(お菓子)として  
正に領収致しました)



2,808円 ÷ 8 = 351円  
1人分

収入印紙

株式会社 綾本家

田中屋

愛知県半田市清水北町一番地  
TEL: 0569-21-1594

印刷面を内側に折って保管願います

原本は鈴木好美議員

平成 30年 / 月 24 日

領収書等貼付用紙

議員名 柳 原 伸 行

タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

➤ 枚中 ➤ 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 証

No. 1416  
2018/01/18

柳原伸行 様

(金額) ¥5,150-

消費税 ¥381 を含む

上記、正に領収致しました。

但し 御宿泊代 として

コンビニ Ayers Rock ホテル石巻

保管する場合は、印刷面を内側に  
折りたたんで下さい

石巻市立町1丁目6-21  
TEL 0225-23-5030 FAX 0225-23-5031

現金決済

#0001-01 印-ト# 5383

3

### 政務活動費成果届出書

届出者 竹内 功治

○使途項目 (○をつける) **調査研究**・研 修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

大規模災害時は発生直後から情報の収集・伝達等の臨機応変での確な初動対応が極めて重要で、東南海地震の発生が心配される中、現実に災害を経験された被災地の実情から初動対応を学び半田市(地域防災計画)に生かせる様に調査研究していきます。また震災の復興状況から半田市に生かせるものを学んで行きます。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成できた。実際に津波の被害を受けていることで全ての言葉に重みを感じた。山元町においては、発災後に災害時の分掌事務の見直しを行っている。また避難所施設として防災センターを建設しており、普段は公民館的施設となっている。また発災時には、暖房機器、発電機、投光器などの機材、トイレなどが特に重要であり、数量も必要になる。石巻市においては、本来は災害対策本部になる市役所が水没して、水が机の高さになり脱出できる状況になるまで3日掛かっており、簡単に津波の水が引かないことが分かった。また発災後の作業全般を市職員が行なわざるをえない状況であり、遺体安置等の業務も市職員が行ったとのことである。議会においては、議員は地元で活躍されたとのことで、発災後に石巻市議会災害対応指針と災害対策会議設置要綱を作成している。今後、山手に市街地を造成する計画になっているとのことである。

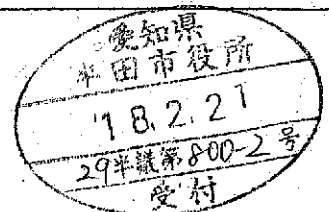
○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・ 公的施設を建設する際には、避難所施設としての側面が重要である。
- ・ 半田市も防災機器の整備を進めているが、機材を揃えるだけでなく数量も考える。
- ・ 専門的な民間業者と連携を図り、実際の発災時に職員だけの対応にはしない。
- ・ 民間施設と連携を図り、避難施設を充実させる。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

実際に津波の被害にあうと、簡単に水が引かない場合がある。半田市役所の庁舎はかさ上げをしており問題ないと考えるが、周りの水が引かない場合は職員が庁舎に入れられない可能性がある。実際に津波被害にあったことを想定して、職員の行動状況を調べる必要があるのではないか。

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間 (概略可)	内容		金額 (円)	領収書 No
1/18 (木)	発8:05 着9:20	中部国際空港—仙台空港 (ANA361便)	旅割28	15,110	①
	発10:59 着11:09	仙台空港—名取	仙台空港 アクセス線	410	①
	発11:28 着11:55	名取—山下	JR常磐線	410	①
		昼食			
		山下駅—山元町役場 (1.8km)	徒歩		
	13:30 15:30	山元町視察 (山元町役場、町内)	手土産 2,808円	351 (2,808÷8人)	②
		山元町役場—山下駅 (1.8km)	送迎		
	発16:00 着16:41	山下—仙台	JR常磐線	1,490	①
	発17:11 着18:10	仙台—石巻	JR仙石東 北ライン		
	宿泊 コンビニAyersRock ホテル石巻		5,150	③	
1/19 (金)	9:30 11:00	石巻市視察 (石巻市役所)	手土産 (上記に含む)		
		昼食			
	発11:52 着12:55	石巻—仙台	JR仙石東 北ライン	1,380	①
	発13:11 着13:35	仙台—仙台空港	仙台空港 アクセス線		
	発14:20 着15:35	仙台空港—中部国際空港 (ANA3148便)	旅割28	18,210	①
		合計	42,511		

平成30年1月31日

### 領収書等貼付用紙

議員名 竹内 功治

タイトル


災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

①

**領 収 証**

株式会社 JTB中部 

No 01045533963-08-01  
2017年12月19日

竹内 功治 様  
下記の金額正に領収いたしました

¥37,010

但し 1月18日 JR乗車券代金・航空券代金として

ご入金 内 訳	2017/12/19 現 金	金	¥37,010	¥0
------------	----------------	---	---------	----

出納責任者 山本 真司  
団体旅行半田支店

取扱者 中川 美穂  
0569-22-4449

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。  
@3015016

**R 024830**  
お客様用

②

2,808円 ÷ 8 = 351円 (1人分)

(原本の領収書は、鈴木好美議員に添付)

2018年01月15日

**領 収 書**

一連No000020  
領収No006211

鈴木好美 様

¥2,808-

(但し お品代(お薬分)として  
正に領収致しました)

収入印紙

株式会社 総本家 **田中屋**

愛知県半田市清水北町一番地  
TEL 0569-21-1594

印刷面を内側に折って保管願います

平成30年1月31日

領収書等貼付用紙

議員名 竹内 功治

タイトル

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について

2枚中

2枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。



③

領 収 証

No. 1417

2018/01/18

竹内功治 様

(金額) ¥5,150-

消費税 ¥381 を含む

上記、正に領収致しました。

但し 御宿泊代 として

コンビニ Ayers Rock ホテル石巻

保管する場合は、印刷面を内側に折たたんで下さい

石巻市立町1丁目6-21  
TEL 0225-23-5030 FAX 0225-23-5031

クレジット決済



#0001-01

シート# 5384